

# 年金広報の現状

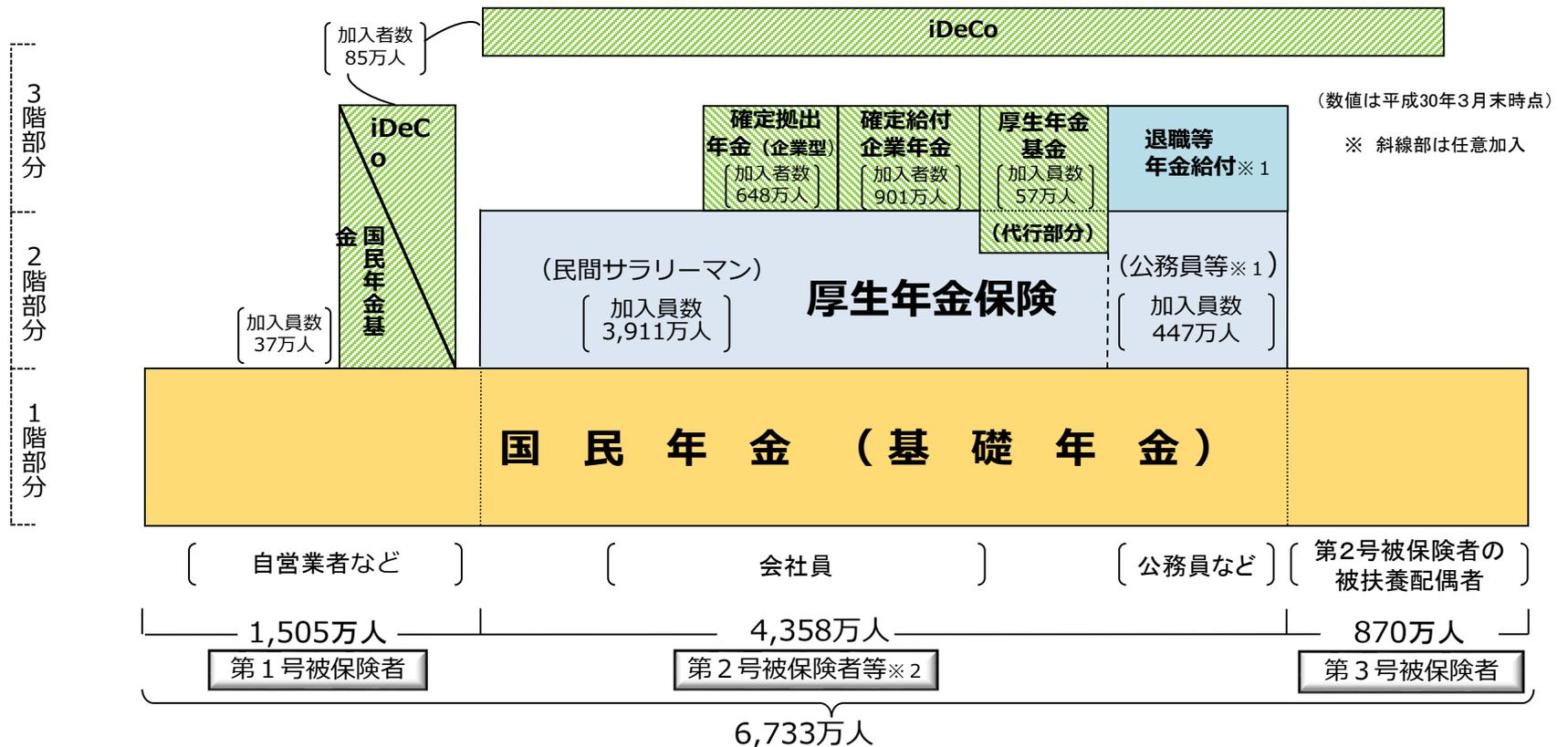
2019年 2月  
厚生労働省年金局

# I 年金制度の概要

---

# 年金制度の仕組み

- 現役世代は**全て国民年金の被保険者**となり、高齢期となれば、**基礎年金**の給付を受ける。（1階部分）
- 民間サラリーマンや公務員等は、これに加え、**厚生年金保険**に加入し、基礎年金の上乗せとして報酬比例年金の給付を受ける。（2階部分）
- また、希望する者は、iDeCo（個人型確定拠出年金）等の**私的年金**に任意で加入し、さらに上乗せの給付を受けることができる。（3階部分）



※1 被用者年金制度の一元化に伴い、平成27年10月1日から公務員および私学教職員も厚生年金に加入。また、共済年金の職域加算部分は廃止され、新たに退職等年金給付が創設。ただし、平成27年9月30日までの共済年金に加入していた期間分については、平成27年10月以後においても、加入期間に応じた職域加算部分を支給。

※2 第2号被保険者等とは、厚生年金被保険者のことをいう（第2号被保険者のほか、65歳以上で老齢、または、退職を支給事由とする年金給付の受給権を有する者を含む）。

## II 年金広報の概要

---

# II-1 年金制度の周知・広報に関する現状の主な取り組み

国民の皆様へ、年金制度について正しく理解いただくとともに、制度に関する議論が建設的に進むことを目的として、年金制度の基本的な概要、財政検証の結果・制度改革の議論の状況等について周知を図るため、広報を行っている。

## 1 インターネット・パンフレットを通じた年金制度に関する周知・広報

- 年金保険制度をわかりやすく説明したパンフレットを作成
- 年金の仕組みや将来の見通しを分かりやすく解説したマンガを作成
- 年金の仕組みや手続きを説明したホームページの作成



国民年金保険制度について周知するパンフレット



一緒に検証！  
公的年金（マンガ）



## 2 年金事務所と地域の高校、大学等が連携した学生を対象とする年金セミナーの開催

- 日本年金機構の職員が大学や高校等に伺い、年金保険制度の意義や仕組みについて理解を深めていただくための「年金セミナー」を実施。



※平成29年度は、全国で延べ3,650回開催し、約28万人の生徒が受講

## 3 iDeCo（個人型確定拠出年金）に関する周知・広報

- 制度の実施主体である国民年金基金連合会や担い手である金融機関、金融庁等と連携した周知・広報を実施。
- iDeCo広報に関する実績
  - ・平成28年11月 iDeCoのロゴマークを作成
  - ・平成29年3月 iDeCo普及推進キャラクター「イデコちゃん」決定
  - ・平成30年8月末 加入者100万人突破



- このほか、テレビCMの放映やシンポジウムの開催、iDeCo公式サイト（国民年金基金連合会HP）でのiDeCoに関するマンガ・アニメ等の掲載など、様々な機会を捉えて広報を展開。

※ この他、毎年11月をねんきん月間と位置付け、公的年金制度の普及・啓発活動の展開（日本年金機構）。また、平成26年から毎年11月30日（いいみらい）を年金の日とし、賛同団体等と協働して、ねんきんネット等の活用により高齢期の生活設計に思いを巡していただくことを呼びかける取り組みを実施。

# (参考) 年金広報の実施方法

## たくさんの者に知らせる場合



ホームページ



ポスター



リーフレット・ちらし



年金セミナー

## 一人ひとりに伝える場合



通知・お知らせ



年金相談



コールセンター

## II-2 当面の広報関係事業（予定）

### 年金ポータル（仮称）

趣旨・概要 ▶ 年金制度については、厚生労働省をはじめとする様々な機関が独自のWeb広報を実施している。これらは、それぞれ独自に行われているため、国民にとって知りたい情報が見つけにくくなっている。年金ポータルは、各組織のホームページの目次としている。

実施時期 ▶ 制作：平成31年～3月末 実施：平成31年4月（予定）  
※本サイトへのアクセス状況を分析するため、サイトの一部については平成31年3月中に掲示し、リスティング広告を実施する。

### 年金広報コンテスト

趣旨・概要 ▶ 年金制度の意義や老後の資産形成についての広報コンテンツ（動画、ポスター、写真等）及び広報コンテンツの展開案を主として学生から募集する。

実施時期 ▶ 募集告知：平成31年5月（予定）  
最終審査：平成31年12月下旬（予定）

### 年金生活者支援給付金

趣旨・概要 ▶ 年金生活者支援給付金は、平成31年10月1日（消費税率の10%への引き上げの日）からあらたに導入されて、年金に上乘せして一定額を支給するもの。本制度の施行にあたり、特設サイト、テレビ広告、ラジオ広告、インターネット広告、ポスター、ディスプレイ広告等を実施予定。

実施時期 ▶ 平成31年9月以降（予定）

### ねんきん情報アプリ

趣旨・概要 ▶ ねんきん情報アプリは、国民年金の仕組みや、保険料の支払い方法、年金の支給開始年齢などについて、公的年金制度を理解していただくための情報を提供するもの。今回、さらなる改良を検討する予定。

実施時期 ▶ 平成31年度 後半（予定）

# II-3 広報の現状と年金ポータル (ホームページの例)

Before (改善前) ▶ 年金に関して様々なWebページがあり、知りたい情報にアクセスできない。



- ・年金について調べたいけど、どのサイトにアクセスしていいかわからない？
- ・自分の今のライフスタイルに合った情報を見つけたいけど見つからない。
- ・公的年金は将来大丈夫（もらえる）なのかなぁ？
- ・自分の将来受け取れる年金はどれくらい？

実施主体

厚生労働省

GPIF

日本年金機構

国民年金基金連合会

企業年金連合会



実施内容

公的年金制度

年金積立金の運用

公的年金の手続き

国民年金基金・iDeCo

企業年金

年金ポータル (仮称)

After (改善) ▶ 年金ポータルにアクセスして、知りたい情報にアクセスできる



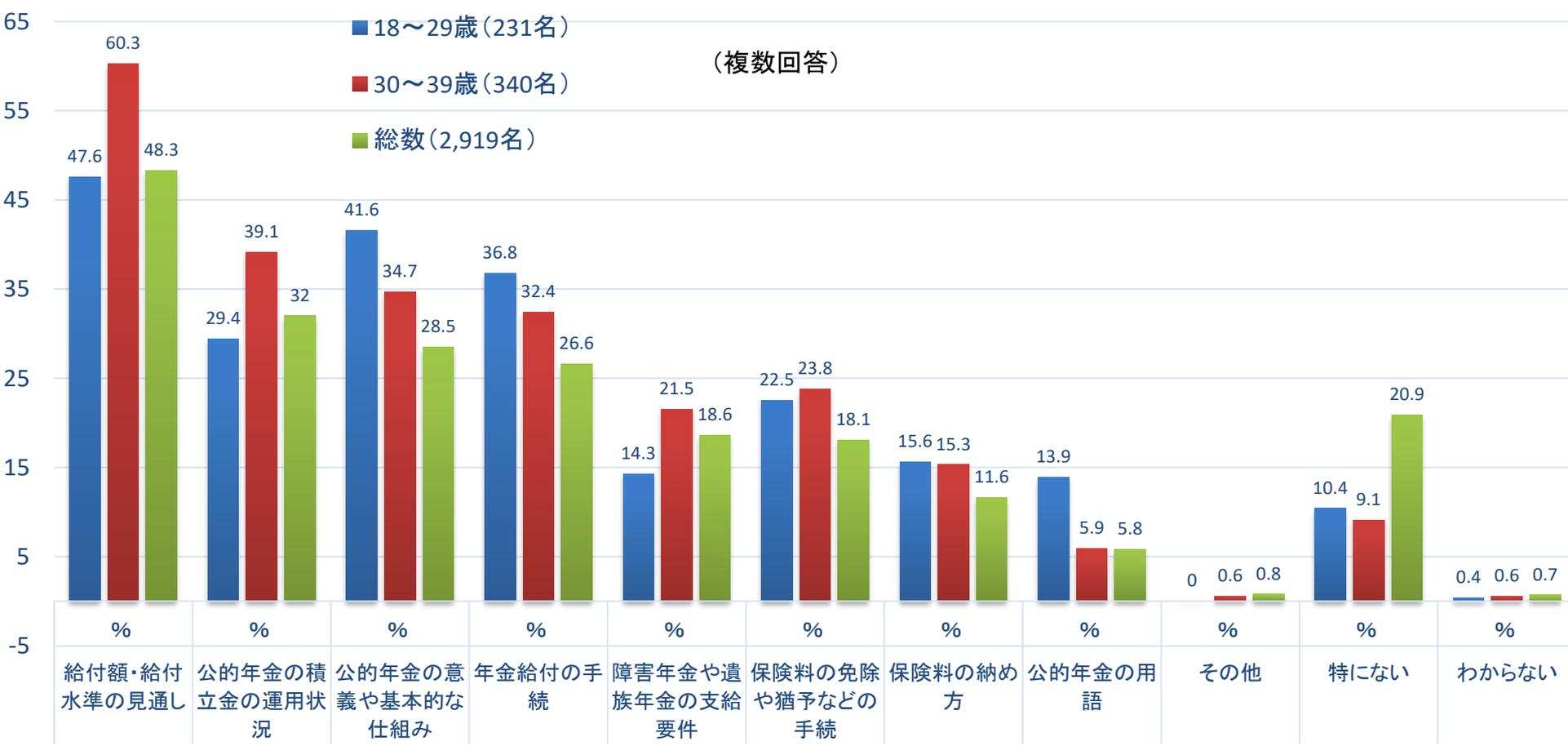
- ・自分にとって身近で、分かりやすい！
- ・見やすく、読みやすく、探しやすいを基本コンセプトに情報の受け手の視点に立ったサイト設計。

### III 「老後の生活設計と公的年金に関する世論調査」 からみた年金広報のニーズ

---

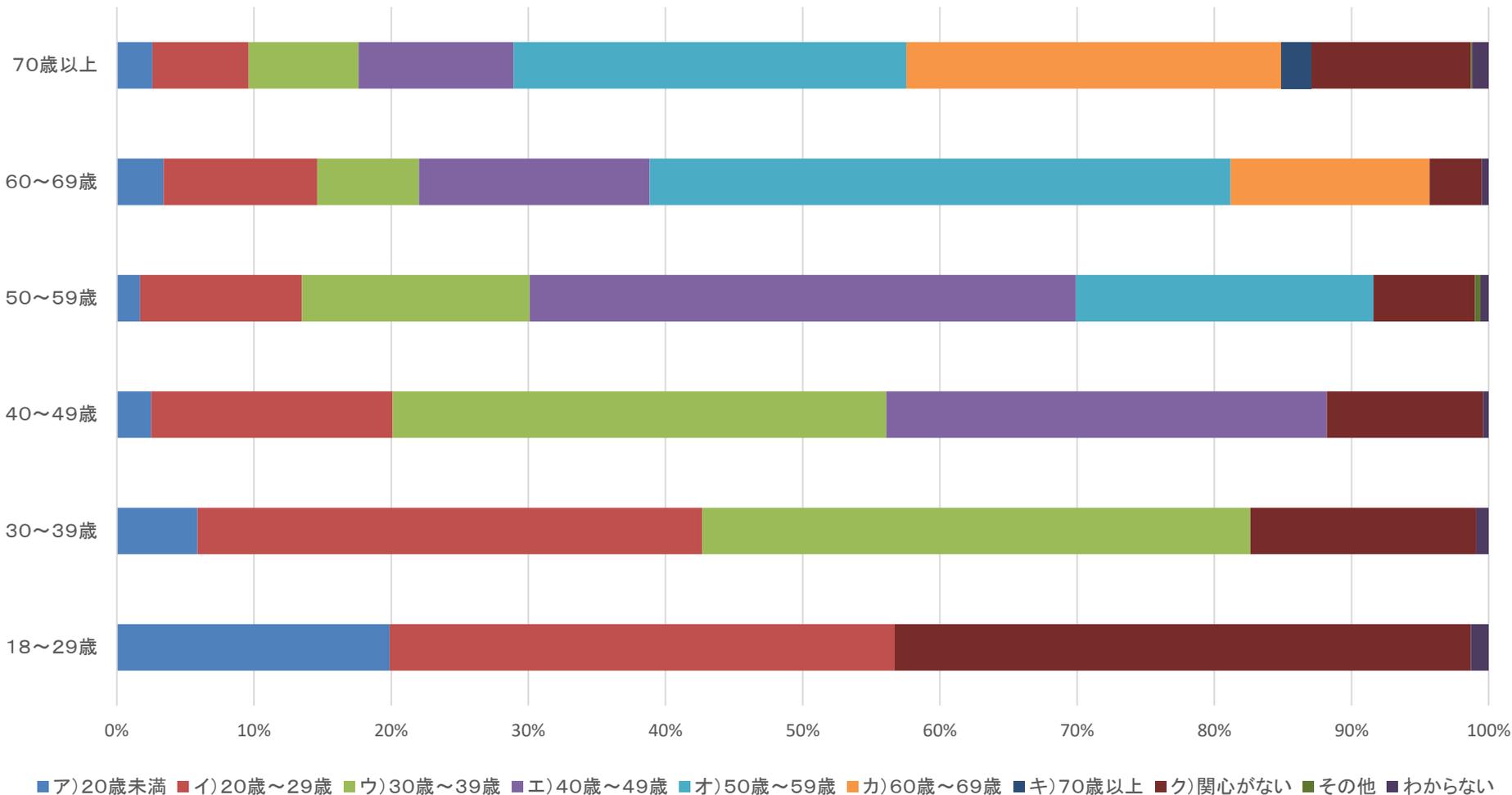
# Ⅲ-1 公的年金制度に関して知りたいこと

・ 公的年金制度に関して、よく知りたいと思うことは何か聞いたところ、「給付額・給付水準の見通し」を挙げた者の割合が48.3%と最も高く、以下、「公的年金の積立金の運用状況」(32.0%)、「公的年金の意義や基本的な仕組み」(28.5%)、「年金給付の手続」(26.6%)などの順となっている。なお、「特にない」と答えた者の割合が20.9%となっている。(複数回答、上位4項目)



# Ⅲ-2 公的年金制度に関心を持った時期

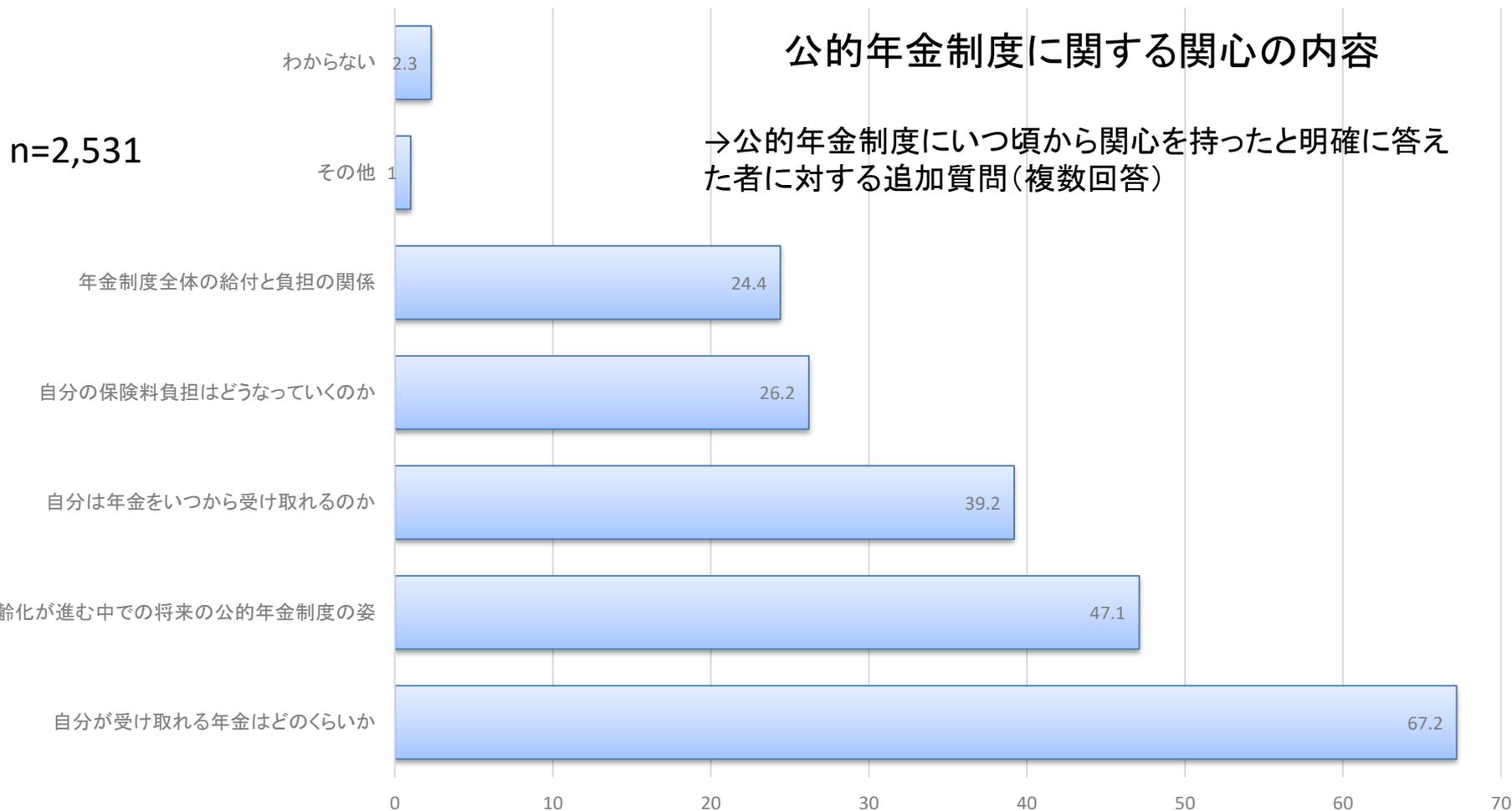
公的年金制度に、何歳頃から関心を持ったか聞いたところ、「20歳未満」と答えた者の割合が4.4%、「20歳～29歳」と答えた者の割合が16.3%、「30歳～39歳」と答えた者の割合が17.3%、「40歳～49歳」と答えた者の割合が18.5%、「50歳～59歳」と答えた者の割合が19.4%、「60歳～69歳」と答えた者の割合が10.2%、「70歳以上」と答えた者の割合が0.6%、「関心がない」と答えた者の割合が12.4%となっている。



出典: 老後の生活設計と公的年金に関する世論調査(平成30年11月); n=2,919

### Ⅲ-3 公的年金制度に関する関心内容

公的年金制度のどのようなことに関心があるか聞いたところ、「自分が受け取れる年金はどのくらいか」を挙げた者の割合が67.2%と最も高く、以下、「少子化、高齢化が進んでいく中で、将来の公的年金制度全体の姿はどのようなものになるのか」(47.1%)、「自分は年金をいつから受け取れるのか」(39.2%)などの順となっている。(複数回答、上位3項目)



# Ⅲ-4 公的年金制度の理解を広げるための方策

・ 公的年金制度の内容について、多くの方に理解してもらうためには、どのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などによる周知広告の充実」を挙げた者の割合が61.7%と最も高く、以下、「学校における年金に関する授業の充実」(45.7%)、「ホームページやアプリ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を活用した周知広報の充実」(33.6%)、「セミナーや相談会など、年金について直接話を聞ける機会の増加」(33.5%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

